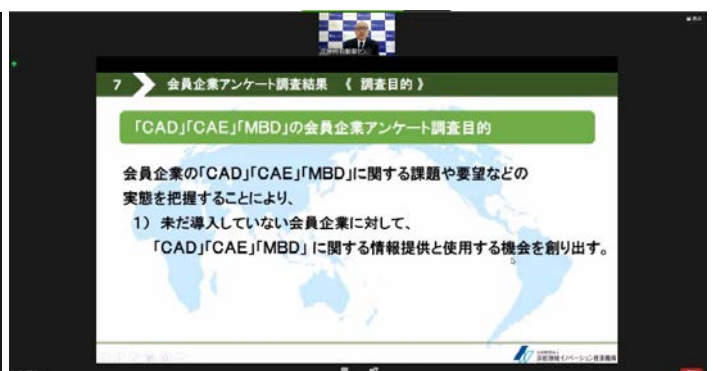
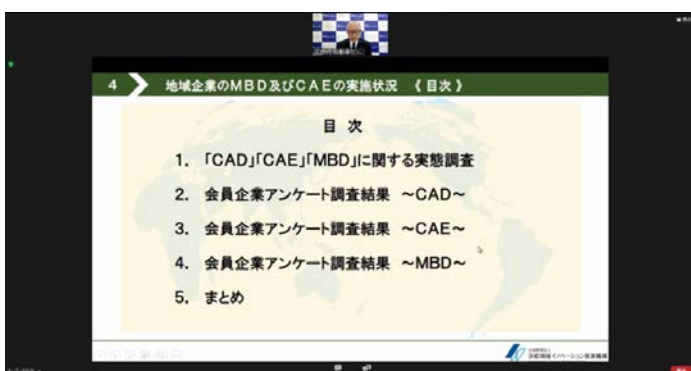


## ■ 第4回自動車工学基礎講座「MBDの基礎」(Webセミナー)(会員限定)

次世代自動車センターでは、昨年度に引き続き、部品製造の中小企業における中堅社員を対象として、全4回の「自動車工学基礎講座」を企画しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、全てWebセミナー形式での開催とし、その第4回目として「MBD(モデルベース)の基礎」をテーマに2部構成で実施し、最初は、「「CAD」「CAE」及び「MBD」の実施状況に関する会員アンケート調査報告」を当センターの望月センター長が行い、次に、「MBDに関する困り事と事例紹介」と題し、AZAPAエンジニアリング株式会社エンジニアリング事業部 内山新吾氏を講師に迎え、Webセミナーを実施しました。

- 日時 : 令和3年2月12日(金) 13時30分~14時50分
- 場所 : web形式
- 参加者 : 35社/61名





### 【参加者の声】

- MBD の活用が拡大されているが、企業の規模や業種によって活用の進み具合が異なるのが良く理解できた。
- MBD について知識が乏しかったが、本講義で MBD における環境・考えについて参考になった。
- 他の中小企業様も CAE や MBD に関して苦慮していることがわかった。
- MBD について、他社の動向を知る事ができた。
- CAD や CAE がどのように製造業に取り入れられているか学べる事が出来た。
- 中小企業の 3D 設計力強化への支援について、CAD や CAE だけでも業種別に使われ方は異なるため、一律な支援策ではなく、企業毎に異なる課題へ対応できる支援策が求められることがよく理解できた。
- 自動車関係メーカーでのデジタル化について、使用方法については差がないことがわかった。
- 会員企業における MBD のビジネスへの対応状況を知る生々しいデータを知ることができ、貴重な講演だった。
- 金型設計の段階で、どのような検討が行われているのか知る事が出来た。
- CAE 上で不具合再現にノウハウが要するという事がわかりました。社内の CAE の手法を解析担当だけでなく課内に展開し、ノウハウを活かす必要があると感じた。
- 具体的な事例からこういった課題が起きうるかをイメージすることができた。また、AZAPA エンジニアリング(株)の対応範囲の広さは大変参考になった。
- 活用経験が無いので、MBD の実際の活用法や困りごとを知ることが出来た。
- MBD の流れから、現状を知ることができ、今後の弊社の動きを考えるきっかけになった。
- 今後の仕事の進め方として、考えて行かなければならないと感じた。
- HILS、MILS というのは、単語は知っていたがどういうものか知らなかった。今回実際の事例を踏まえて聞いたことでイメージがわき、理解することが出来た。